

はんざわ多美の

市政ウォッチング

支援者の方が政治活動用の「のぼり」をなんと！手作りしてくれました。布が余ったというので、収納袋のオマケつきです。キャッチコピーは「女性の声を市政へ」です。こうした支援者の皆さんの想いをぜひ議会に届けなければと決意を新たにしています。



さて、西濃地域の女性議員を見てみると、下記の表のように少ないことがわかります。大垣市では現在、13.6%にとどまります。

女性は社会的な役割として、子育てに始まり、子育てが終わると親の介護が待ち受け、それが終わって気づいてみると今度は自分の老後というライフサイクルを描くことが多かったといえます。こうした時代背景の

中で、公的なサービスの不十分さや時代の影響で苦勞を重ねてこられた方も少なくありません。



はんざわ多美

女性の視点からの議会活動の必要性を強く感じます。例えば、子育て支援・教育政策の充実。介護サービスの充実。そして交通政策など高齢期の生活を守る政策、高すぎる国保料の引き下げや年金引き下げへの反対、大垣の宝である「垣老（70歳以上医療費1割負担）」を守ることなどに全力で取り組みます。

望まれる
女性議員の比率向上

西濃地域の女性議員数

市町村	議員定数	女性	割合
関ヶ原	9	2	22.2
安八	10	2	20.0
大野	12	2	16.7
養老	13	2	15.4
大垣	22	3	13.6
海津	15	2	13.3
神戸	10	1	10.0
輪之内	10	1	10.0
垂井	13	1	7.7
揖斐川	17	1	5.9
池田	10	0	0.0